

平成 30 年度 公益社団法人日本愛玩動物協会
家庭動物の適正飼養管理に関する調査研究助成 申請書

平成 29 年 月 日

公益社団法人日本愛玩動物協会 会長 東海林 克彦 殿

下記の通り調査研究助成金の申請をいたします。

1. 申請者

ふりがな 氏名		印	男 女	生年月日 西暦 年 月 日 (才)
現住所	〒 — E-mail Tel : Fax :			
最終学校名 (卒業年月)		学位 (取得年月)		
所属機関	名称	職位		
	〒 — E-mail Tel : Fax :			
所属学会等				

2. 調査研究課題

<調査研究分野> () 下記の中から当てはまるものを記入

- ①動物の健康と安全、習性、生理生態 ②マナー、しつけ ③公衆衛生 (迷惑防止を含む) ④所有者明示
⑤繁殖、繁殖制限 ⑥動物観、歴史 ⑦法令 ⑧その他

<調査研究課題> (課題名は簡潔に研究内容がわかるように記載)

3. 研究組織 (共同研究者がいる場合)

	所属機関	職名	氏名	年齢	調査研究分担事項
共同 研究 者					

4. 調査研究費の内訳

当該調査研究課題に関する調査研究費の総額： 万円（「(1) 申請金額」と「(2) 自己資金」の合計額）

(1) 申請金額

項目	金額	明細（品目・数量等を可能な限り具体的に記入）
①設備備品費		
②消耗品費		
③旅費		
④謝金等		
⑤その他		
合計	万円	

※設備備品費は、総額 10 万円以下、旅費は国内海外を問わず総額 10 万円以下とすること。

(2) 自己資金（大学・研究所等の経常経費、私費など）

金額	万円
----	----

5. 調査研究の目的及び特色

調査研究の全体構想、その中で本研究の具体的目的、特に①～④については、具体的かつ明確に記述して下さい。

- ①調査研究の学術的背景、国内・外の動向及び位置づけ（適宜文献を引用）
- ②本調査研究で、何をどこまで明らかにしようとしているのか
- ③当該分野における本調査研究の学術的な特色・独創的な点及び予想される結果と意義
- ④本協会の公益目的事業との関連性、適正飼養への応用可能性

6. 調査研究の内容及び計画

- ①調査の具体的な実施手順・方法・スケジュール（フローチャートを添付して説明すること）
- ②調査研究計画を遂行するための研究体制（共同研究の場合は具体的な役割分担を含む）

7. 計画を実施するに当たっての準備状況等

- ①本調査研究を実施するために使用する研究施設・設備・研究資料等、現在の研究環境の状況
- ②共同して研究を行う者がいる場合には、その者との連絡調整の状況及び、研究着手に向けての状況
- ③本研究の研究成果を社会・国民に発信する方法等

8. 他の機関等から受けている研究助成金

※申請中のものは、備考欄にその旨を注記すること。

助成金等の名称	申請者 (代表研究者)	研究課題	助成額	助成期間	備考
合計			万円		

9. 研究業績

最近5カ年間に発表した論文・著書などのうち、本研究に関連する重要なものを代表者及び分担者について合計して5編程度、発表年次の新しいものから過去にさかのぼり記述してください。また、「査読の有無」を必ず付記して下さい。書ききれない分は他何編として下さい。投稿中の論文は、掲載が決定しているものに限りです。なお、研究代表者及び研究分担者にはアンダーラインを付して下さい。また、最近5カ年よりも前に発表した論文・著書などのうち、本研究に特に関連する重要なものがありましたら記述して下さい。

発表年	研究代表者 分担者氏名	発表論文名・著書名等
2011年～ 2016年	研究代表者 研究分担者	
2010年 以前	研究代表者 研究分担者	
		他 編

平成 年 月 日

承 諾 書

公益社団法人日本愛玩動物協会
会 長 東海林 克彦 殿

機 関 名

所 在 地

Tel

職 名

ふりがな
氏 名

公印

当機関に所属する下記の者が、貴協会の調査研究助成の申請をすることを承諾します。

職 名

ふりがな
氏 名

住 所

Tel

※所属研究機関を持たない場合、大学の指導教員等の推薦書（本紙）
を添付下さい。承諾書を提出する場合は、本紙の添付は不要です。

平成 年 月 日

推 薦 書

公益社団法人日本愛玩動物協会
会 長 東海林 克彦 殿

推 薦 者

機 関 名

所 在 地

Tel

職 名

ふりがな

氏 名

印

申 請 者

ふりがな

氏 名

住 所

Tel

推 薦 の 理 由 :